大仙市立中仙小学校　学校報

輝く ひとみII

令和３年度 第６８号
令和４年２月１７日

学校教育目標　　ゆめにむかって えがおいっぱい みんなでチャレンジ

＜木のぬくもりを感じながら＞

５年生、木工体験を行う（本立てづくり）

毎年この時期、５年生は木材を使って工作活動を行っています。今年度も、今週火曜日に行いました。県の森林環境学習活動支援事業からの予算とＳＫホーム様のご協力で実現している体験です。校内のあちらこちらに木製の長椅子が置かれていますが、これも、かつての５年生が木工体験の中で製作したものです。杉の香りがなんとも気持ちよく、ぬくもりも感じさせます。秋田杉を使って工作することが事業の規則として決められているとのことでした。

この日は、一人一人が本立てをつくりました。木材そのものは、あらかじめ製材されていますが、肝心の釘打ちが一番の腕の見せどころです。「曲がらないようにそっと」釘打ちする子、「一気に行っちゃえ」とガンガン打ち付ける子等、さまざまでした。女の子でなかなかの腕前のお子さんも。今，建築業や建設業に進む女子が増えていると聞きます。このような体験も、将来の進路を切り開く、一つの要素になるのでしょう。

さて、できあがった本立てには、この後、どんなものが立てられるのでしょうか。大切に使ってほしいと思います。

新キャラクターを紹介します

昨年度、５０周年記念事業の一つとして「記念キャラクター」をつくり、記念バッジやシールなどで広く活躍してもらいました。

この度、記念キャラクターの作成者である６年生の高橋結乃さんにお願いし、本校の新キャラクターを考案してもらいました。名前は「サニー」です。このキャラクターの中には結乃さんの中仙地域に対する思い、卒業を前にした中仙小学校への思いがあふれています。「明るく」をモチーフにした、「太陽の輝き」。元気に歌う様子を表した「口」。羽根は「玉川」と「斉内川」を。そして八乙女山に咲く「桜」。５０周年のバトンを受け取り、次の５０年へ。中仙小は、今後もこの豊かな中仙地域の中で歩んでいきます。

卓球にチャレンジ！　－いろんなスポーツに触れさせたい－

体育用具室の奥にずっとひそんでいた卓球台を引っ張り出し、ネットやラケットを準備し、今週から休み時間に卓球遊びができるよう開放しました。テレビなどでは目にしたことのあるお子さんもいるようですが、生で見るのは初めてという子どもたちもけっこう多くいました。職員の中にも、「隠れ卓球部」がいる気配を感じていますが。

上手になってくると、ますます楽しくなっていく卓球ですが、ラリーが続くまでにはまだまだ至っていません。しかし、ラケットというものを握りしめ、タマを必死に返そうとする姿には、子どもらしい直向きさを感じます。（さて、北京オリンピックも終盤です。私は、アスリートの技とメンタルの強さに感動しています。）

４年　熊　谷　梨佳子　さん

第４４回児童生徒県南美術展

特賞（ＮＨＫ秋田放送局長賞）